

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年10月01日

計画の名称	安心して快適に暮らせる生活環境づくり（下水道）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宮崎市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心、快適な生活環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,445	A	6,445	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H25末	H29末	H31末
1	下水道処理人口普及率を85.1%（H25）から91.4%（H31）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率 （下水道を利用できる人口（人）） / （総人口（人））	85%	90%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	高岡処理分区幹線整備(未普及解消)	幹線 L=0.3km	宮崎市						30	-	
	A07-002	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	高岡処理分区面整備(未普及解消)	面整備 A=126ha	宮崎市						661	-	
	A07-003	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	清武処理分区幹線整備(未普及解消)	幹線 L=0.9km	宮崎市						357	-	
	A07-004	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	清武処理分区面整備(未普及解消)	面整備 A=151ha	宮崎市						2,540	-	
	A07-005	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	加納処理分区面整備(未普及解消)	面整備 A=86ha	宮崎市						246	-	
	A07-006	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	有田処理分区面整備(未普及解消)	面整備 A=14.8ha	宮崎市						74	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	大塚(2)処理分区幹線整備(未普及解消)	幹線 L=0.2km	宮崎市						63	-	
	A07-008	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	木原処理分区幹線整備(未普及解消)	幹線 L=0.43km	宮崎市							50	-
	A07-009	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	木原処理分区面整備(未普及解消)	面整備 A=119ha	宮崎市							1,445	-
	A07-010	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	終末処理場	新設	佐土原浄化センター水処理施設整備	水処理(4系)増設	宮崎市							911	-
	A07-011	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	新設	加納中継ポンプ場施設整備	ポンプ増設	宮崎市							37	-
	A07-012	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	宮崎処理区広域化推進整備	実施設計 N=1式	宮崎市							16	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	青島処理区広域化推進整備	実施設計 N=1式	宮崎市						9	-	
	A07-014	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(汚水)	新設	田野処理区広域化推進整備	実施設計 N=1式	宮崎市							6	-
												小計						6,445	
											合計							6,445	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

担当課において、定量的指標の達成状況や事業効果の発現状況を検討する。
宮崎市社会資本総合整備計画評価委員会に意見を求め、客観的な意見を評価書に反映させる。

事後評価の実施時期

令和2年2月

公表の方法

宮崎市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

公共下水道の整備は着実に進捗し、令和元年度末に清武地域の整備が概成したことをもって市全域で概成し、処理人口が大幅に増加している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

- ・ 今後は、未普及箇所の解消に向けて、引き続き取り組む。
- ・ 公共下水道に近接する農業集落排水処理場を廃止し、公共下水道に接続する「広域化推進事業」に取り組む。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標	下水道処理人口普及率
	最終目標値	91%
	最終実績値	91%
		<p>下水道を利用できる人口（人）÷総人口（人）</p> <p>下水道整備は令和元年度末に市全域で概成し、下水道処理人口が増え、概ね目標を達成できた。 （目標値）総人口398,060人中、下水道処理人口363,868人（91.4%） 宮崎市全体における処理人口普及率 （実績値）総人口401,293人中、下水道処理人口366,301人（91.3%） ”</p> <p>【参考】 市全域の整備進捗と下水道処理人口の増加状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積整備 全体計画面積7,883ha中、R1整備済面積実績7,725ha（98.0%） 宮崎市全体における面積整備率 処理人口 H25末実績：344,317人 R1実績：366,301人（21,984人増）